

情報通信学会2020年度第1回AIネットワーク法・政策研究会
「人工知能研究を形作ったものは何か？—歴史的観点から考える」

主催： 情報通信学会AIネットワーク法・政策研究会
共催： 大阪大学社会技術共創研究センター総合研究部門
日時： 2021年3月19日（金）16：30～18：30
場所： オンライン（Zoomにより開催）
テーマ： 「人工知能研究を形作ったものは何か？—歴史的観点から考える」
報告者： 杉本舞（関西大学社会学部社会システムデザイン専攻准教授）
討論者： 成原慧（九州大学法学研究院准教授、情報通信学会AIネットワーク法・政策研究会幹事）
司会者： 福田雅樹（大阪大学社会技術共創研究センター総合研究部門長・教授（兼）大学院法学研究科教授、情報通信学会AIネットワーク法・政策研究会主査）

概要：

「人工知能」という言葉の多義性は、人工知能について論じる上でしばしば問題となる。人工知能関連技術に対する認識の乖離は、どのようにして生まれたのか？ 本報告ではその歴史的経緯を整理したい。

人工知能という研究分野は1950年代半ばに成立したといわれることが多い。本報告では研究の源流を1930年代までさかのぼり、デジタルコンピュータの登場と並行して、のちの人工知能分野に繋がる研究がどのように登場したかということも含め、理論史・技術思想史の観点から分析する。また、第二次世界大戦後の技術政策にも目配りし、2010年代が3回目だといわれる「AIブーム」に共通の要因などについても考察したい。

参加費： 無料

申込方法：

御参加を希望される方は、<kenkyukai[at]jsicr.jp>（[at]は@に変更してください。）宛ての電子メールによりお申し込みください。

電子メールの本文には氏名、所属・役職及び連絡先（電子メールアドレス）を記載し、電子メールの件名は「2020年度AIネットワーク法・政策研究会参加申込」としてください。

お申し込みいただいた方に対し、開催前日までに、視聴用URL等詳細を電子メールによりお知らせいたします。

URL： <http://www.jsicr.jp/operation/study/ainet.html>